

提案④ 「きれいなまちづくり」担い手の育成

解決したい地域課題

- 既存の活動団体の認知度が低い
- 活動の範囲、対象等が個別的になっ
てしまっていることがある

課題解決の方向性

- 「きれいなまちづくり」活動を幅広
く捉え、多様な活動団体の活躍・
連携の場を形成する

取組内容

(1) 地域活動の認知度向上、担い手発掘

- 相互の活動の体験、ノウハウの共有など情報交
流の場の創出
- 企業等による地域貢献活動との相互連携の推進
- 公園や花壇、街路樹等を維持管理する区民の団
体の立上げ支援、担い手育成の推進
※公園の管理運営協議会などの制度の活用
※地元の事業者や企業など新たな担い手の参加
等への働きかけ

(2) 区の木・区の花の活用

- 区の花「パンジー」、区の木「モモ」を活用した区内の資源や地域活動のP R
(例：樹木名プレートの設置、プランターの配布・設置など)



区の木 モモ

新しく制定の区の木「モモ」
もうまく活用したい

取組の推進・今後の検討課題

- 対象団体の情報収集…アンケート調査結果
など
- 連携・情報交換等の場の設定…相互の活動
体験、世代交流の場など

取組の担い手

- 既存の活動団体と行政の連
携・協働

取組スケジュール（案） 期間：平成 26～27 年度

- ①「きれいなまちづくり活動」アンケート調査の実施・結果分析→支援や連携の
対象団体の選出
- ②支援、連携・情報交換、情報発信等の手法の検討・企画、区内団体への周知・
働きかけ・実施、新たな担い手の発掘

提案⑤ 「きれいなまちづくり活動」啓発物の作成

解決したい地域課題

- 既存の活動団体の認知度が低い
- 活動の範囲、対象等が個別的になっ
てしまっていることがある

課題解決の方向性

- 優れた活動の周知や顕彰、ノウハ
ウや情報の共有、課題箇所への環
境改善への働きかけを推進する

取組内容

(1) 地域の課題箇所・優良箇所の抽出

- アンケート調査（提案①）の結果に基づく、
地域の課題箇所・優良事例の抽出、分析
- 見出した箇所の維持や改善の方法等の検討

(2) 啓発物の制作・設置

- 中原区らしく、訴求力の高いデザインや掲
載内容の検討（公募制の導入や、川崎フロ
ンターレ選手や人形劇団ひとみ座の人形などの区内資源の活用など）
- (1) で見出した区内の箇所等へ看板等の啓発物を制作・設置
- 「区民会議」や「きれいなまちづくり」の表記による「きれいなまちづくり活動」
の理念の普及・啓発や区民会議の活動の P R



掲示などの工夫がされたごみ集積所の例

取組の推進・今後の検討課題

- 地域の課題箇所・優良資源の選出及びその
方法の検討
- 啓発看板の掲載内容、素材、設置場所、設
置方法等の検討

取組の担い手

- 廃棄物減量指導員や美化活
動グループ等との連携と行
政との協働

取組スケジュール（案） 期間：平成 26～28 年度

- ① アンケート調査結果の分析→地域の課題箇所や優良事例の抽出
- ② 啓発看板のデザイン・掲載内容等の検討開始
- ③ デザイン・掲載内容、啓発看板の素材、設置場所、設置方法等の検討
- ④ 設置（設置エリアを徐々に広げていく）

提案⑥ 「きれいなまちづくり活動」キャンペーン

解決したい地域課題

- 既存の活動の参加者が限定的になってしまっている

課題解決の方向性

- 区民の目に触れる機会、参加の機会を創出し、取組全般を周知し、区全体で取組への気運を高める

取組内容

(1) 「きれいなまちづくり活動」の情報の収集・整理・発信

- 「きれいなまちづくり活動」アンケート調査の結果分析、情報の整理・発信
- その他既存の調査、出版物やHP等の整理・活用による分析・情報の整理、発信

(2) 「きれいなまちづくり活動」の情報の発信（キャンペーン方式）

- キャンペーン方式の導入による連続性や展開性のある情報の発信をすることで、個別の取組を関連づけ、次の展開・参加へつなげていく
- より多くの区民に届き、活動に参加しやすくなる情報の発信、親しみやすく、読まれる情報の編集を行う（冊子、HP、公共広報物、マスメディアなど）

(3) 「きれいなまちづくり活動」の顕彰

- 活発な活動や優れた活動について、関係者の激励やノウハウの周知等を目的とした顕彰・表彰等の制度を検討する

(4) 「きれいなまちづくり活動」の総括

- 参加した区民や関係者を一同に集め、一連の活動や取組の総括、相互の交流、区民の力を結集する場の形成を図る

取組の推進・今後の検討課題

- 活動団体の情報の収集・整理（アンケート調査結果等から）
- 情報発信の手段、媒体などの検討、情報の編集
- より効果的なキャンペーン展開のアイデア、工夫
- 総括方法の検討

取組の担い手

- 既存の活動団体と行政の連携・協働

取組スケジュール（案） 期間：平成27～28年度

- ① 「きれいなまちづくり活動」情報の収集・整理（アンケート調査結果などから）
- ② 情報発信の手段、媒体などの検討、情報の編集
- ③ 各取組の関連付け、キャンペーン広報の効果的な展開、総括・検証

③その他の検討内容

今回の6つの取組提案の検討過程においては、実現性や緊急性、連携の可能性等の観点から、最終的に提案には至らなかったものがいくつかありました。

その事例を紹介します。

■スポーツ GOMI 拾い

ごみ拾いをイベント化、スポーツ化した競技。定められたエリアで、制限時間内に、チームワークでごみを拾い、集めたごみの量や質で競い合います。「日本スポーツ GOMI 拾い連盟」により、細かいルールが定められている他、各地で開催されている実績があります。

多世代で一緒に取り組めるものとして評価する意見もありましたが、中原区では適した会場が無いとの意見もあり、提案の絞り込みの際に採用に至りませんでした。

■モデル集積所の設置

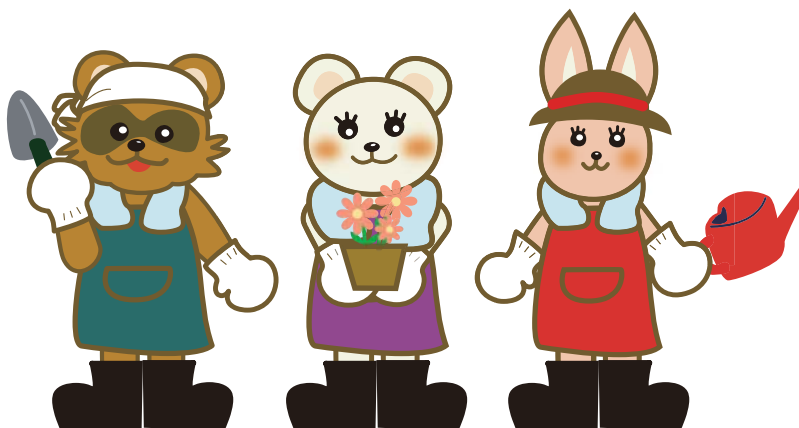
模範的な集積所、分別しやすい機能的なごみ箱や集積所等を、モデル的に、区民の目に付く場所に設置できないかという意見が出されました。

他方で、集合住宅等では個別の常設集積所が設置されており、管理人等が分別をしてくれるなどの例もあり、「居住する地域や環境等によって事情が違ふ他、理想的なごみ集積所の形も大きく異なる」との指摘や、設置・普及に伴うコストを心配する意見も出されました。

■きれいなまちづくり活動コンクール・作品展

「きれいなまちづくり活動」コンクールとして、例えば集積所や地域の好きな場所の絵画や写真、標語等の募集、表彰するコンクールを開催してはどうかという意見が出されていました。しかし、募集内容等の詳細の検討までには至りませんでした。

また、地域団体や市民活動団体で絵画等のコンクールを開催している例もいくつか確認されました。



3. 新たな審議テーマの検討

二つ目の審議テーマの検討（第4回区民会議・3月23日）

第4回会議では、第5期中原区区民会議の2年間の任期内に取り組む二つ目の審議テーマについて、意見交換しました。

平成27年5～6月に開催が予定されている第4回運営部会、第5回区民会議での検討を経て、次の審議テーマの決定を行う予定です。

【第4回区民会議での意見の概要】

- 現在実施中の「きれいなまちづくり活動」アンケート調査の結果から、何か新しいテーマを見いだせるかもしれない。
- オール中原区で取り組むべき課題は何かを考える必要がある。
- **高齢者と子どもの交流**を図り、結びつけるようなテーマが良いのではないか。
- **支えあいの体制づくり**が身近な課題だ。高齢化を町会の活動を通じて感じている。
- **地域防災力の向上**。いつか、必ず大型の地震が首都圏でも発生する。
- **魅力発信**も良さそうだ。
- **防災の観点も含めた、高齢化の進行と支えあいの仕組みづくり**。
- **地域コミュニティ**はすべての課題のベースにあり、つながっていくテーマだ。
- **自転車の利用マナー**。子どもは学校で学ぶ機会があるが、親のマナーが問題である。
- **自転車やベビーカー**の利用状況・環境が気になっている。今、ここで取り上げてもよいのではないか。
- **バリアフリー、高齢者に手を差し伸べる社会**など。
- 自転車は**運転マナー**の他、**駐輪マナー**の課題もある。また**事故**も増えている。
- **地域包括ケア、地域で支えあう仕組み**。市長もよく言及されている。
- **高齢化の進行と支えあいの体制づくり**。井田山等、高齢化が顕著な地域がある。
- **介護予防**に取り組み、少しでも長く、元気に過ごしてもらうことが重要だ。
- **地域コミュニティの担い手発掘**が早急な課題ではないか。

